《平成30年度　会計課　組織目標の達成状況》

重　平成30年度予算重点施策に関連する項目には、「4.課題解決に向けた平成30年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

◆目標管理者

会計管理者　　田中　宏幸

	1. 現状認識 （重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など）		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標		4. 課題解決に向けた平成30年度の具体的な取組 【年度末実績】
1	「第3次草津市行政システム改革推進計画」のアクション・プランに「公民連携手法の活用」および「内部事務の効率化」として、これまで外部委託が進んでいなかった業務について、段階的にアウトソーシングを導入することが位置づけられています。	①	内部事務である会計業務の一部を段階的にアウトソーシングするために、関係課と連携を図りながら取組を進めます。	①	【取組】 対象業務の具体的な精査と他市状況を踏まえた問題点の整理 【成果目標】 外部委託に向けた仕様書の作成	①	【取組実績】 先進地の状況を参考にしながら対象業務の精査を行いました。 【成果目標実績】 外部委託に向けた仕様書案を作成しました。
2	マイナス金利政策の影響により、各種預金の金利等が下落しており、公金の運用には困難な状況が続くものと見込まれています。	②	今後の景気や金融政策の動向を注視しつつ、低金利の状況下においても確実かつ有利な公金運用に努めます。	②	【取組】 資金の管理、収入・支出状況を的確に把握し、公金の適正運用に努めます。 【成果目標】 日々、必要な資金の状況を的確に把握し、より多くの資金を利率の高い定期預金等で運用できるよう取り組みます。	②	【取組実績】 資金の管理、収入・支出状況を的確に把握し、公金の適正運用に努めました。 【成果目標実績】 資金状況を見ながら利率の高い定期預金等で資金運用を行いました。